

川田さんは、年がじょうについて感じたことを作文に書きました。次は、その下書きの一部です。よく読んで、あとの問いに答えましょう。

お正月にとどいた年がじょうを見ると、筆で書いたものや、フェルトペンで書いたものがある。なかには、パソコンで作ったものもあった。

①筆で書かれた年がじょうは、白と黒で表現げんされていて、きりつとしたなかに、あたたかみも感じられる。②書くための準備じゅんびには少し時間がかかるが、それをそれを使って年がじょうを書くことが日本の伝統を味わうことになるのだ。③フェルトペンで書かれた年がじょうは、色さい豊ゆたかである。④目的に合わせて、色や太さを工夫したり、イラストを入れたりするので、一まいを仕上げるのにかなりのアがかかることもある。⑤あざやかな色を使って書かれた一まいからは、楽しそうに書いている様子が伝わってくる。

パソコンで作った年がじょうは、すっきりとして読みやすく、写真を入れたものもある。パソコンのよいところは、絵や写真を入れた年がじょうが手軽にできることがよいところだ。また、たくさん作ることができるので便利だ。

一 「それ」は、何をさしていますか。あとの1から4までのの中から一つ選んで、その番号に○をつけましょう。

1 万年筆

2 フェルトペン

3 パソコン

4 筆

二 「伝統を味わう」の「味わう」は、国語辞典の1から3のどの意味で使われていますか。その番号に○をつけましょう。

【国語辞典】

【味わう】（動）

1 よい味をたのしむ。 例 ごちそうを味わう。

2 ものごとのおもしろみを感じ取って、たのしむ。 例 詩を味わう。

3 喜びや苦しみを感じ取る。 例 悲しみを味わう。

三 川田さんは、——の文を読み直して、「書き方がおかしいな。」と感じました。「パソコンのよいところは、」に続けて、正しく直した文を書きましょう。

パソコンのよいところは、

四 ア に入る適切な言葉を、文中からさがして書きましょう。

五 川田さんが書いた①から⑤までの文を、二つの段落だんに分けたいと思います。どのように分けられよいか。あとの1から4までのの中から、一つ選んで、その番号に○をつけましょう。

1 ① と

② ③ ④ ⑤

2 ① ② と

③ ④ ⑤

3 ① ② ③ と

④ ⑤

4 ① ② ③ ④ と

⑤